

平成23年度

施政方針

平成23年第1回曾於市定例会が開かれ、この定例会で平成23年度一般会計当初予算などが審議されました。その中で池田市長の施政方針を一部抜粋して掲載します。

平成23年第1回曾於市議定例会が開会されるにあたり、市政運営に臨む私の姿勢と所信の一端を申し上げますとともに、平成23年度の一般会計予算案の重点施策など、その概要についてご説明申し上げます。

我が国の経済は、本格的な回復の軌道に乗っておらず、慢性的なデフレが続いております。

何より、深刻な財政状況の下、持続可能な社会保障の整備が遅れる中、少子化・高齢化、生産年齢人口の減少は否応なく進み、社会の閉塞感、将来への不安感が高まっています。

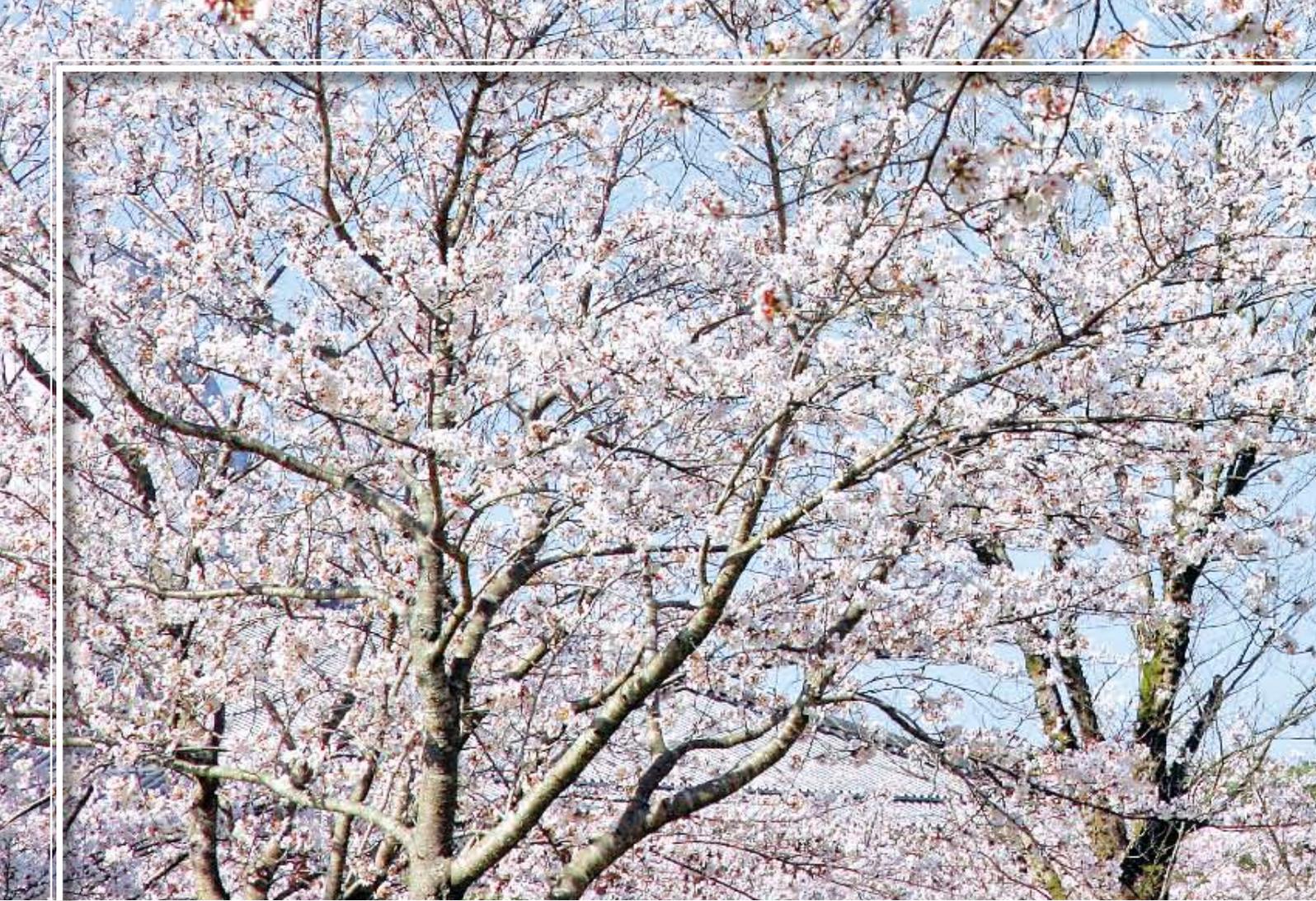
平成23年度の国の予算は、政権交代後、新政権がゼロから取り組む最初の本予算であり、『成長と雇用』の実現、デフレ脱却への道筋、「国民の生活を第一に」、「確固たる戦略に基づく予算編成」の理念の下、成長と雇用拡大を実現するとの基本的考え方により編成されています。また急速な円高の進行等の

厳しい経済情勢にスピード感を持って対応し、デフレ脱却と景気の自律的回復に向けた道筋を確かなものとするため、新成長戦略の本格実施を図ることとし、「21の国家戦略プロジェクト」を推進するとともに、「マニフェスト」に掲げる重要な政策課題に対応することとされています。

本市におきましても、少子高齢化や過疎化の進展など社会情勢が一段と厳しさを増す中で、これまで提供してきた行政サービス等は、維持しなければならぬと思っております。

行政サービス等を安定的に供給していくためには、曾於市総合振興計画や過疎地域自立促進計画、財政計画、行政改革大綱、定員適正化計画、組織機構再編計画等の主要な計画を十分に踏まえながら、行政体制の整備や行財政基盤の強化が不可欠であり、効率的な組織体制の構築を図りながら、これまで以上の自主的・自立的な行財政運営に努めていくことが大切であると思っております。

私は、平成17年8月に曾於市の初代市長として就任して以来、活気に満ち、心豊かであり、夢と希望の持てる元気なまち



にしたいという信念で、市民の皆様にお約束した施策を着実に実施しながら、新市まちづくりの将来像である「豊かな自然の中で生命の鼓動を感じるまち」の実現に向け、全力を尽くして市政運営に取り組んでまいります。

曾於市誕生から6回目の春を迎えておりますが、平成23年度予算編成に当たりましては「均衡のとれた曾於市のまちづくり」に向けて、健全財政の確保を基本として歳出の削減、合理化を図りながら財源の配分を行ったところであります。

平成23年度予算は、国・県の方針を踏まえ編成いたしました。雇用情勢の悪化など景気が停滞しており、これらについては、国の施策等を十分活用しながら取り組んでまいります。

厳しい財政状況の中での編成となり、歳出におきましては物件費等について極限まで絞り込み、徹底して消費的経費を抑制したところであります。

普通建設事業は、緊急性・必要性など投資的効果を踏まえ、事業を厳選したところですが、消防センター整備事業や中学校校舎改築事業などの新規事業があり、予算が伸びております。

その結果、平成23年度の一般会計当初予算は219億4700万円、前年度の当初予算207億5900万円に対して11億8800万円、5.7%の増となりました。

特別会計におきましては、予算総額が116億5592万5千円となり、前年度の当初予算114億7424万2千円に対して1億8168万3千円、1.6%の増となっております。

介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計は前年度に対し伸び、その他の特別会計は前年度に対し減少となっております。

水道事業会計予算は、収益的収入5億4590万3千円、収益的支出5億1151万8千円、資本的収入1億1800万円、資本的支出3億9280万9千円となっておりますが本年度は水道料金の統一を行うこととしております。

平成23年2月25日

曾於市長 池田 孝

活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望の持てる元気なまちづくりのための

5つの主要施策



快適で安心して暮らせるまちづくり

Chapter 1

道路交通体系の整備は、道路・橋梁等の整備や道路維持管理に努めるため、国や県の交付金や補助金による緊急地方道路整備事業や地方特定道路整備事業及び地債・過疎債・合併特例債等を活用した市道整備事業、排水路整備事業を進めてまいります。

また、定住対策として公営住宅や地域振興住宅の建設を今年も進めるとともに新たに新築住宅取得者等への補助や木造住宅の安全性向上を図るための耐震診断、耐震改修にも助成を行ってまいります。さらに、高齢者等の交通弱者の交通手段の確保を図るため、引き

続き思いやりタクシー等の運行を行い、7月から完全移行される地上デジタル放送の難視聴地域解消事業に

も取り組みます。

個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

Chapter 2

「覇気に満ち『夢』実現にチャレンジする児童・生徒」を育成することが使命であり、そのため学校教育の充実を図ります。まず老朽化した学校施設の整備・改修や21年度に市内小・中学校の全教室に設置した電子黒板の活用力をさらに高め、曾於市ならではの学習を進め、児童・生徒が「夢」を語り、それをエネルギー源に瞳をキラキラ輝かす教育活動を展開します。加えて特別支援教育支援員の配置、学習指導補助員を配置して児童・生徒をしっかりと支援し、特色ある教育活動もさらに充実させることにしています。

社会教育では昨年に引き続き日本一の富士登山チャレンジと市内の高校生を海外に派遣する研修等で参加者を増やすなど青少年教育に一層力を注ぎ、国際化にも対応出来る人材の育成に最大の努力をして参ります。

また、適正規模での学びのため、末吉・財部の中学校統合に向けた取り組みを着実に進めます。その一環として本年度から財部中学校



の改築工事に着手いたします。

一方、学校施設の開放により、市民に身近な活動や交流の拠点として、地域の人材の活用を図り、多面的な機能を持つ学校づくりに努めます。

「潤いに満ち、常に『夢』実現にチャレンジする市民の育成」のため生涯学習の一層の充実を図ります。その一環として生涯学習総合大学を中心とした学びをさらに拡充し、その成果をまちづくりに生かし「生命の鼓動」を感じるまちづくりに努めます。

曾於市を代表する郷土文化の「弥五郎どん祭り」を、国の文化財に指定してもらったための取り組みなど数多くの文化財を生かした地域文化の振興に精一杯努めます。

健やかで共に 支え合う 福祉のまちづくり

Chapter 3

保健予防・健康づくりの推進では、健康づくりを進めるため特定健診をはじめ、生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療を目的に、各種検診の推進と各種健康教室の充実を図ります。少子化対策として不妊者の体外受精・顕微受精等や乳幼児医療費・健康診査に対する助成を行います。また、ヒブワクチン・子宮頸がん予防ワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの全額助成なども行い、肺がん検診には精度の高いものを取り入れてまいります。保健福祉等サービスの拠点施設となる健康増進施設の整備やパークゴルフ場、フラワーパークの整備についても取り組みを進めてまいります。



高齢者福祉については、訪問給食サービスや布団の洗濯消毒サービス、要介護者のための住宅改修

補助など生活に密着している事業の充実を更に図ってまいります。

児童福祉については、小学校就学前までの乳幼児医療費の無料化、第3子以降の保育料の助成を継続し、保護者の負担軽減に努めてまいります。

後期高齢者医療制度の被保険者については引き続き、市単独のはり灸・温泉保養の補助を行います。また、国民健康保険へも市単独の財政安定化支援金を助成し、被保険者の税負担軽減を図ります。

人と自然が共生し 地域資源を生かした まちづくり

Chapter 4

農業は本市の基幹産業であり、

営農環境の整備や生産性の向上に努め、高い経営能力を持つ意欲的な農家や営農組織を育成し、生きがいとやりがいの持てる農業の振興を図るため、新規就農者への支援や園芸振興に対する補助、農家緊急対策特別資金に対する利子補給、土地改良事業等を行うことにしています。

また、農産物の加工や各種研修



会を通じ、地区の活性化を図るための農産加工研修センターの整備を行うていきます。特産品のブランド確立と地産地消や食育の推進についてはさらに取り組んでまいります。

畜産については、繁殖雌牛及び肥育素牛導入への補助を継続いたします。このほか昨年度発生した口蹄疫の対策事業についても継続することにしています。

林業は、森林資源の育成と木材需要の拡大と林業生産活動の活性化を図るため、森林の多面的機能の保全と林道・作業路等の基盤整備や除間伐、枝打ちなどの森林整備を行うことにしています。

さらに、商工業の振興と活性化

を図るため、資金借入に対する利子補給を拡充し、商工会商品券発行、国の緊急経済対策借入金金の保証料に対する助成や企業に対する工場設置補助金等も継続することとしています。

住民参画による 協働のまちづくり

Chapter 5

自治会活動は、自主的な活動により自分たちの地域社会を創るものであり、まちづくりの原点であります。これからの協働社会の充実と助け合う地域づくりを促進し、安心して生活できる地域づくりを確立するため、自治会振興補助金の交付、自治会統合に対する助成を引き続き行います。

また、自治公民館建設に対しても補助を行い、自治活動の基盤整備を図ります。

さらに、「曾於市」が限りなく発展していくために、中長期的な視点に立った財政計画の基に歳出の合理化・効率化・重点化に努め、曾於市総合振興計画等、各種の主要計画を基本にしながら、財政運営の健全化に取り組んでいくことにしています。